

1 広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会の概要

平成14年に市民団体、事業者及び広島市が連携し、「広島市買い物袋持参デー実行委員会」として発足し、買い物袋等持参促進及びレジ袋の削減の取組を開始。平成21年度に「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会」と改称し、毎月1日を「ごみ減らそうデー」として、スーパーマーケットでの店頭キャンペーンを実施するなど更なるごみ減量・リサイクルを推進しています。

平成28年度には、飲食、ホテル・旅館業関係団体を委員に加え、平成29年2月から食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」を開始し、食品ロス削減に取り組む食品小売店及び飲食店等を対象とした「食品ロス削減協力店」の登録・PRを実施するなど、食品ロス削減に向けた取組を行っています。



2 構成団体（五十音順）

【市民団体】	
・広島環境サポーターネットワーク	・広島市地域活動連絡協議会
・広島市地域女性団体連絡協議会	・(公社)広島消費者協会
【事業者】	
(スーパーマーケット)	
・イオンリテール(株)	・(株)イズミ
・西條商事(株)	・(株)サンリブ
・(株)スパーク	・生活協同組合ひろしま
・(有)はなわ	・(株)フジ
・(株)藤三	・(株)フジマート
・(株)フレスタ	・マックスバリュ西日本(株)
・(株)万惣	・(株)ユアーズ
(コンビニエンスストア)	
・(株)セブン-イレブン・ジャパン	
(デパート)	
・(株)そごう・西武 そごう広島店	・(株)広島三越
・(株)福屋	
(協会)	
・(一社)日本フランチャイズチェーン協会	・広島県スーパーマーケット協会
(飲食、ホテル・旅館業関係団体)	
・(一社)広島県生活衛生同業組合連合会	・広島市観光ホテル・旅館組合
【行政】	
・広島市環境局	

3 令和4年度に実施した食品ロス削減に関する主な取組等

(1) 家庭から排出される食品ロス削減対策

ア 「ごみ減らそうデー」の実施

毎月1日を「ごみ減らそうデー」とし、スーパーマーケットの店頭でのパネル展示やアンケートの実施等により、買物客に食品ロス削減の取組を呼びかけています。

<実施状況>

- ・ 毎年8回（6月～12月及び2月）実施することとし、8月にはリサイクル工作教室を同時開催しています。
- ・ 令和4年度は7回実施しました（新型コロナウイルス感染症対策のため6月は中止）。



イ 環境イベント等への出展に合わせたクイズ・フードライブの実施

環境をテーマとしたイベント等においてブースを出展し、食品ロス削減等に関するクイズやパネル展示を実施するとともに、フードライブ（家庭で余っている缶詰やレトルト食品等を持ち寄ってもらい、福祉団体等に寄付する活動）を実施しています。

<実施状況>

実施月	イベント名	実施場所	クイズ参加者数	フードライブ実績
6月	環境の日「ひろしま」大会	オンライン	2,553回 (アクセス数)	未実施
10月	エコロジーマーケット 環ッハッハinよしじま	中工場	208人	121個（16人参加）
10月	文教祭	広島文教大学他 (全5か所)	未実施	979個（114人参加）
1月	はたちを祝うつどい	サンプラザ	85人	未実施
3月	ぬまたエコ広場	安佐南工場	80人	91個（13人参加）



ウ エコクッキング教室の開催

普段は捨てがちな食材の部位や余った食材を活用した調理方法を紹介するエコクッキング教室を公民館等で開催しています。

<実施状況>

- ・ 令和4年度実績：5回



エ 食品ロス削減イベントの開催

令和元年度から、食品ロス削減の日（10月30日）に市内中心部で市民を対象としたイベントを開催し、食品ロス削減に関するクイズやパネル展示を実施するとともに、フードドライブを実施しています。

＜実施状況＞

実施日	イベント名	実施場所	クイズ参加人数	フードドライブ実績
10月30日	スマイル！ひろしま広場	広島駅南口地下広場	350人	449個（57人参加）



オ 学生と連携したエコクッキングレシピ・動画作成及びエコクッキング教室の開催

市内の学生に食品ロス削減につながるエコクッキングレシピ・動画を作成してもらい、市ホームページ等で紹介するとともに、学生を講師としたエコクッキング教室を開催しています。

また、大学祭において学生が主体となり、フードドライブを実施しています。

＜実施状況＞

・ エコクッキングレシピ・動画の作成、エコクッキング教室の開催

令和4年度は安田女子大学と広島文教大学の大学生がエコクッキングレシピを、広島文教大学と広島経済大学の大学生がエコクッキングレシピ動画を作成しました。

また、安田女子大学の学生が講師となったエコクッキング教室を2回、広島文教大学の学生が講師となったエコクッキング教室を1回開催しています。

・ フードドライブの開催

平成28年度から広島文教大学の大学祭において、学生が主体となりフードドライブを実施しており、令和4年度は114人から979個の食品の提供がありました（3-1-イの表参照）。



カ 環境講座の実施

家庭ごみの分別・減量・リサイクルや食品ロスの削減をテーマとした環境講座を実施しています。

＜実施状況＞

- ・ 令和4年度実績：25回

キ 生ごみリサイクル講習会の開催

（詳細は3-4-イを参照）

ク フードドライブに関する勉強会の開催

市内で活動するフードバンク団体から、物価高騰などの情勢により個人からの食料支援依頼が増える一方、現状のフードバンクへの寄贈量では十分に賄うことができず、安定的な食糧支援が困難な状況となっているという声が寄せられ、これを受けて、本市のごみ減量・リサイクル実行委員会に参画する食品関連事業者等に呼び掛けて、フードドライブの実施拡大を図るための勉強会を開催しました。

＜勉強会の内容＞

- ・ 勉強会趣旨説明及びアンケート集計結果の公表【環境局環境政策課】
- ・ フードドライブ及びフードバンクについて【社会福祉法人正仁会フードバンク事業あいあいねっと】
- ・ フードドライブの事例紹介【株式会社セブン・イレブン・ジャパン】【株式会社フジ・リテイリング】

ケ 啓発パネル等の啓発物品の貸出

ごみの減量・リサイクルや食品ロスの削減をテーマとしたパネルや幟旗等の啓発物品の貸し出しを行っています。

＜実施状況＞

- ・ 令和4年度実績（パネル貸出）：7回
（イオンモール広島祇園、大河公民館等で使用）



コ ごみ減量啓発DVDの市民への貸出及びYouTubeへの公開

食品ロスの削減を含むごみの減量やリサイクルの方法などを紹介したDVDを作成し、市内の小・中学校における環境教育での活用のほか、市民等に無償で貸し出すとともに、YouTubeでの視聴ができるようにしています。

サ ごみ減量・リサイクルに関するチラシ等の作成

食品ロス削減を含むごみ減量・リサイクルに関するチラシを作成し、町内会等を通じて配布しています。また、市内への転入者等に配付しているごみ出しハンドブック「ひろしまエイト」で、食品ロス削減について周知を行っています。

(2) 事業所から排出される食品ロス削減対策

ア 「食品ロス削減協力店」の登録・PR

量り売りや小分け売りなどに取り組む小売店等と料理の食べきりなどに取り組む飲食店や宿泊施設を「食品ロス削減協力店」として登録し、市ホームページでPRするとともに、ポスターやステッカーの配布、幟旗の掲出を行っています。

＜登録店舗数（令和5年2月7日現在）＞

計661店舗（内訳：飲食店・宿泊施設228店舗、小売店等433店舗）



イ スーパーマーケット等と連携した「てまえどり運動」の実施

販売期限が過ぎて廃棄される食品が削減されるよう、買ってすぐ食べる場合に、商品棚の手前に並べられている消費期限・賞味期限が近い商品や値引き商品を積極的に選ぶ「てまえどり」を呼びかける運動を、令和3年10月（食品ロス削減月間）から展開しています。

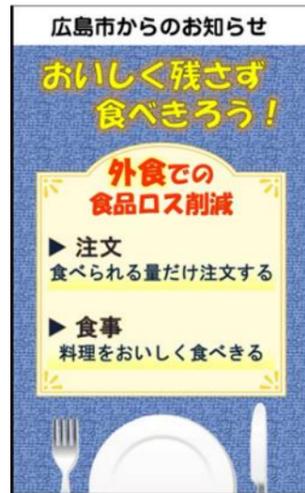
＜実施内容＞

食品ロス削減協力店のうち小売店等において、「てまえどり」を呼びかけるPOP（ポップ）やポスターを掲示するとともに、店内アナウンスを行うよう、取組を進めています。



ウ 外食時の食品ロス削減の推進

外食時には食べられる量だけを注文し、料理をおいしく食べることや、宴会において、最初の30分と最後の10分は料理を楽しむことで、食べ残しを減らす「3010運動」（さんまるいちまる運動）について、市ホームページを活用した周知を行っています。



エ 食べきりの推奨（実施予定）

「食品ロス削減協力店」のうち、飲食店等を対象として、料理を完食（食べきり）した利用者に対して、広島広域都市圏ポイントを付与します。付与期間は宴会等で飲食店の利用が増加する年末年始（令和5年12月及び令和6年1月）を予定しています。

オ 食べ残し料理の持ち帰りの推奨（検討中）

飲食店で食べきれなかった料理の自己責任での持ち帰りを推奨するため、啓発用品として持ち帰り用の容器（ドギーバッグ）を「食品ロス削減協力店」のうち、飲食店等に配布することを検討しています。

(3) 家庭・事業所両方に関する食品ロス削減対策

ア 勉強会の開催

広島市ごみ減量リサイクル実行委員会の開催に合わせて、不定期で事業者の取組について事例紹介いただく勉強会を開催しています。なお、以下に加えて令和4年度は中工場の見学も行いました。

<勉強会の内容>

- ・ 店舗におけるフードドライブの実施について【株式会社イズミ】
- ・ 販売期限等の見直しについて【生活協同組合ひろしま】
- ・ 家庭系廃食用油の店頭回収の実施について【株式会社万惣】

イ 食品ロス削減サポーター育成推進

地域等において食品ロスの削減を担う人材を育成するため、食や環境問題に一定の知見を有した個人や団体の会員向けの講座の受講を関係団体等に呼び掛け、サポーターの育成を推進しています。

※食品ロス削減サポーター制度は、令和4年度に消費者庁が設立。

ウ 表彰制度の設立（実施予定）

広島市食品ロス削減推進条例に基づき、食品ロスの削減に関し顕著な功績があると認められる者に対し表彰を行います。※令和5年度に制度設計し、令和6年度から実施予定。

(4) 食品リサイクルの推進

ア 食品リサイクル・ループ形成に向けた取組

食品リサイクル・ループとは、どうしても出てしまう調理くず（野菜の皮や芯、魚のあら、卵の殻など）や食品ロスを肥料や飼料にリサイクルし、その肥料や飼料を使って野菜や魚などを育てる循環型のモデルのことです。

令和4年度には「食品リサイクルループ」の認知度向上に向け、PR用の本市オリジナルのロゴ作成やこのロゴを使用したポップやチラシを作成し、事業者を提供しました。また、町内会等を通じて配布するごみ減量啓発チラシやひろしま市民と市政（令和5年3月15日号）にもこの取組を掲載しました。

なお、広島市中央卸売市場では、その建替えに合わせた食品リサイクル装置の導入について協議を進めています。



イ 生ごみリサイクル講習会の開催

段ボールやミズを用いて家庭で生ごみを堆肥化する方法を紹介する講習会を、公民館等で開催しています。

<実施状況>

- ・ 令和4年度実績：4回



ウ 家庭系廃食用油の回収の促進

家庭系廃食用油については、その多くが可燃ごみとして排出・焼却されており、民間事業者等が廃食用油を回収するとごみの減量や飼料化・肥料化によるリサイクルにつながるため、この取組についてホームページで広報を行うとともに、幟旗を配布し取組を促進しています。



エ 食品リサイクル施設の周知

本市ホームページに近隣市町の食品リサイクル施設を掲載し、食品関連事業者に周知を図っています。